



関西本線

ウォーキングガイド



かめやま

せき

亀山駅 ⇄ 関駅 編

コースガイド ▶ウォーキング距離：約8.1km ▶参考所要時間：約3時間30分

江戸時代の旅人に思いをはせて～悠久の歴史を感じるコース

亀山市は江戸時代に参勤交代の大名や旅人たちの往来でにぎわった東海道五十三次の三つの宿場町として栄えました。

街道沿いには今なお、古い町家が立ち並び、宿場町（亀山宿、関宿、坂下宿）としての面影を随所に残しています。江戸時代の面影を辿りながら、ゆっくりと散策してください。



関地藏院から眺める関宿

見て！

楽しい！ 来て！

沿線のイベント

4月 太岡寺囃さくらまつり



6月 花しょうぶまつり

7月 関宿祇園夏まつり

8月 亀山市納涼大会
関宿納涼花火大会



11月 東海道関宿街道まつり

1月 亀山大市



こんなところにもいってみよう

■亀山市図書館

学びとまちづくりの核となる図書館は「学びの場からつながる場へ」～知る・学ぶ・楽しむを基本理念に、本を通じて、自分と向き合い、友だちとの語らひを楽しみ、自分やまちの将来について夢を膨らませる「居場所」であることを目指しています。新しい学びの場となる図書館を、ぜひご利用ください。



🍴 おススメグルメ

■亀山みそ焼きうどん

古くから交通の要衝として栄えてきた亀山市。昭和30年代にトラックの運転手さんたちで賑わう焼肉店で、特製味噌を使った鉄板での焼肉にうどんを入れて食べたのが亀山みそ焼きうどんの始まり。今では市内の各店舗で提供されています。



亀山みそ焼きうどん本舗

検索

関西本線

全路線図

関西本線は、名古屋～大阪間を最短距離で結び、自然景観から都市景観まで多様な魅力が楽しめる路線です。

JR西日本

JR東海

- JR難波
- 天王寺
- 三郷
- 王寺
- 法隆寺
- 大和小泉
- 郡山
- 奈良
- 平城山
- 木津
- 加茂
- 笠置
- 大河原
- 月ヶ瀬口
- 島ヶ原
- 伊賀上野
- 佐那具
- 新堂
- 柘植
- 加太
- ★ 関
- ★ 亀山
- 井田川
- 加佐登
- 河曲
- 河原田
- 南四日市
- 四日市
- 富田浜
- 富田
- 朝日
- 桑名
- 長島
- 弥富
- 永和
- 蟹江
- 春田
- 八田
- 名古屋

達磨寺 (奈良県・王寺町)



岩船寺 (京都府・木津川市)



九華公園 (三重県・桑名市)



森津の藤 (愛知県・弥富市)



おすすめコース

亀山駅



徒歩約 10分

1 旧亀山城多門櫓

城下町亀山を象徴する建物で、三重県で唯一の現存する城郭建築物として三重県の文化財に指定されています。

徒歩約 5分

2 加藤家屋敷跡

江戸時代後期の亀山城主石川家の家老職を務めた加藤家の屋敷跡。武家建築として希少な遺構として亀山市の文化財に指定されています。



徒歩約 30分

3 野村一里塚

慶長9年(1604年)徳川家康の命によって亀山藩主関長門守一政が建造したといわれる一里塚。昭和9年(1934年)に国の史跡に指定されました。



徒歩約 35分

4 太岡寺囃

鈴鹿川の北堤を約2kmに及ぶ東海道一の長縄手です。春には鈴鹿川と調和した美しい桜並木が楽しめます。

徒歩約 35分

5 東の追分

東海道と伊勢別街道の分岐点で、関宿の東の入り口です。今も残る大鳥居は伊勢神宮を遥拝するもので、20年に一度の伊勢神宮式年遷宮の際に内宮宇治橋南詰の鳥居が移されてきます。



徒歩約 15分

6 関の山車会館

今までは祭りの時しか目にするのでできなかった山車が常時2台展示され、迫力ある山車の姿を間近で見ることができます。



徒歩約 5分

7 関宿旅籠玉屋歴史資料館

江戸時代の旅籠の様子を今に伝える重要な遺構として亀山市の文化財に指定されています。内部は歴史資料館となっており、当時の様子をうかがいすることができます。

※入場料：大人300円
月曜日休館



徒歩約 5分

8 小萬の湯

無料で楽しめる足湯施設です。足の疲れもここでスッキリ。

※ 10:00～17:00
月曜日休業



徒歩約 5分

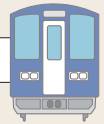
9 関地藏院

天平13年(741年)行基菩薩の開創と伝えられており、本堂は元禄13年(1700年)に建立されました。本堂・愛染堂・鐘楼は国の重要文化財に指定されています。



徒歩約 15分

関駅



ウォーキングMAP



お問合せ 亀山市観光協会 TEL: 0595-97-8877 FAX: 0595-96-0700

関西本線整備・利用促進連盟事務局(三重県交通政策課内) TEL: 059-224-2622 Email: kotsu@pref.mie.lg.jp

H P: https://www.kankomie.or.jp/report/1674



2024年3月発行